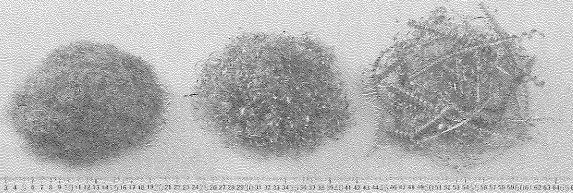


M C 切りくず切戻回収

加工液
ポンプ ユーベック、詰まり防止

【名古屋】ユーベック(名古屋千種区、植田修司社長、052



・761・2728)は、アルミニウムダイカストの切削加工で発生する切りくずとクーラント液を同時に回収できる小型マシニングセンター(MC)向けのクーラントポンプシステムを開発した。切りくずの切断機能を搭載し、ポンプ詰まりによる機械トラブルを低減して生産性向上につなげる。集中クーラ

ント方式で50~60台連結の場合、配管工事費別でMC1台当たりの価格は約150万円(消費税抜き)。

通常のクーラントポンプ入り口にある羽根部分を改造し、回収した大きな切りくずを細かく切断する。切りくずが直径20ミリの程度に固まりになっても切断し、圧送できる。

使用するポンプは出力750ワットと小型で、処理能力は毎分120リットル。回収タンク1台当たりの設置面積は0.5×1.5メートルで省スペース

ース化した。回収したクーラント液は精密濾過システムに圧送し、円筒状カートリッジフィルターでスラッジを除去する。除去能力は20リットル(マ

イクロは100万分の1以上。同フィルターは1年間の保証付き。精密濾過システムの設置面積は2×6メートル。濾過したクーラント液は再びMCに送り込む。

自動車部品メーカーなどに年間10システムの販売を目指す。最適な使い方など効率的なクーラント液管理の提案を通じ、拡販につなげる。

コダマコーポ 3

【横浜】コダマコーポレーション(横浜市都筑区、小玉博幸社長、045・949・1331)は、仏トッ

ボルト仮止めワッシャー

板バネ応用、高強度

レング
スプリ
ング
大ス

大陽ステンレススプリング(東京都練馬区、堺谷豊社長、03



・39222・4111)は、ボルトの仮止めができるワッシャー(座金)「プレホールドワッシャー」を開発した。2021年2月に発売する。取り付け

左はワッシャー本体。右はボルトに装着した状態

用ボルトを納品する部品に仮止めして出荷するための製品。ステンレス製板バネの性能でボルトへの装着が容易で抜けにくく、強度が高い。価格は個別見積り。

部品にボルトを仮止めし納品すれば、完成品メーカーは締め付け

360度力活用し
フラン

目次
ブレーブマニ

横河電